



2020年5月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年7月14日

上場会社名 株式会社 岡山製紙 上場取引所 東
 コード番号 3892 URL <http://www.okayamaseishi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津川 孝太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 妻鹿 徹 TEL 086-262-1101
 定時株主総会開催予定日 2020年8月27日 配当支払開始予定日 2020年8月28日
 有価証券報告書提出予定日 2020年8月28日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期の業績（2019年6月1日～2020年5月31日）

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期	10,032	0.0	1,350	79.5	1,408	75.1	972	82.4
2019年5月期	10,030	10.6	752	—	804	921.3	533	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年5月期	196.06	—	11.1	10.7	13.5
2019年5月期	107.86	—	6.5	6.5	7.5

(参考) 持分法投資損益 2020年5月期 一百万円 2019年5月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期	13,587	9,245	68.0	1,861.19
2019年5月期	12,776	8,309	65.0	1,678.93

(参考) 自己資本 2020年5月期 9,245百万円 2019年5月期 8,309百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年5月期	1,087	△247	△87	4,359
2019年5月期	800	△63	△74	3,606

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年5月期	—	6.00	—	7.00	13.00	64	12.1	0.8
2020年5月期	—	7.00	—	8.00	15.00	74	7.7	0.8
2021年5月期 (予想)	—	8.00	—	8.00	16.00		16.2	

3. 2021年5月期の業績予想（2020年6月1日～2021年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	5,000	△2.1	350	△51.2	400	△47.8	280	△47.0	56.45
通期	9,800	△2.3	650	△51.9	700	△50.3	490	△49.6	98.78

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年5月期	5,500,000株	2019年5月期	5,500,000株
2020年5月期	532,276株	2019年5月期	550,876株
2020年5月期	4,960,570株	2019年5月期	4,943,550株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）2ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1)当期の経営成績の概況	2
(2)当期の財政状態の概況	2
(3)当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4)今後の見通し	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	2
3. 財務諸表及び主な注記	3
(1)貸借対照表	3
(2)損益計算書	5
(3)株主資本等変動計算書	7
(4)キャッシュ・フロー計算書	9
(5)財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(追加情報)	10
(持分法損益等)	10
(セグメント情報)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11
4. その他	12
(1)生産、受注及び販売の状況	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期における板紙業界においては、2019年後半からの国内経済の減速に伴い、1%前後の成長を続けてきた段ボール生産面積が2019年は前年比でマイナスとなり、さらに新型コロナウイルス感染症の影響で需要が減少しました。一方、原料古紙は中国向け輸出の減少で国内流通価格が安定し、主な燃料であるLNGの価格も安定して推移しました。

こうした環境のなか、当社の主要製品である板紙、特に段ボール原紙(中芯原紙)の販売数量は減少しましたが、改定した板紙製品価格の維持に努め、売上高は前年と同水準を確保することが出来ました。古紙・LNG価格の安定は利益に寄与しました。

この結果、当期の売上高は10,032百万円(前期比0.0%増)、営業利益は1,350百万円(前期比79.5%増)、経常利益は1,408百万円(前期比75.1%増)、当期純利益は972百万円(前期比82.4%増)となりました。

各セグメントの概況は次のとおりであります。

○板紙事業

当事業関連では、中芯原紙販売数量、紙管原紙販売数量ともに減少いたしました。改定後の製品価格を維持することが出来たため、売上高は8,846百万円(前期比0.9%増)、セグメント利益は1,394百万円(前期比81.2%増)となりました。

○美粧段ボール事業

当事業関連では、主力の通信機器関連品・青果物ともに低調で、売上高は1,185百万円(前期比6.2%減)、セグメント損失は43百万円(前年同期はセグメント損失16百万円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

総資産は、13,587百万円で前期末の12,776百万円に比べ、811百万円増加いたしました。内訳としては流動資産が744百万円の増加、固定資産が66百万円の増加であります。

流動資産増加の主な要因は、現金及び預金が利益の増加によって752百万円増加したことあります。また、固定資産増加の主な要因は、来期完成予定の設備投資により建設仮勘定が113百万円増加したこと及び減価償却により機械及び装置が77百万円減少したことあります。

負債は、4,341百万円で前期末の4,467百万円に比べ、125百万円減少いたしました。内訳としては流動負債が216百万円の減少、固定負債が91百万円の増加であります。

流動負債減少の主な要因は、未払費用202百万円の減少及び原料古紙仕入の減少による買掛金116百万円の減少などあります。また、固定負債増加の主な要因は、相殺先の繰延税金資産の減少による繰延税金負債54百万円の増加及び退職給付引当金32百万円の増加であります。

純資産は、9,245百万円で前期末の8,309百万円に比べ、936百万円増加いたしました。主な要因は利益剰余金903百万円の増加であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当期における現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べて752百万円増加し、4,359百万円(前期比20.9%増)となりました。

当期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、1,087百万円の収入(前期は800百万円の収入)となりました。主な要因は、税引前当期純利益1,394百万円、減価償却費276百万円の増加要因と、仕入債務の減少155百万円、法人税等の支払額386百万円の減少要因によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、247百万円の支出(前期は63百万円の支出)となりました。主な要因は、利息及び配当金の受取額53百万円の増加要因と、有形固定資産の取得による支出273百万円の減少要因によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、87百万円の支出(前期は74百万円の支出)となりました。主な要因は、配当金の支払額69百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大による世界的な景気の低迷で、大幅な需要の減退が予想されます。原料古紙及び原燃料の価格の動向も不透明であり、非常に厳しい経営環境になることが予想されます。

当社としては、現状の製品価格の維持を最優先に、更なる経営の効率化を追求し、継続的な収益の確保に努めてまいります。

2021年5月期の業績は売上高9,800百万円、営業利益650百万円、経常利益700百万円、当期純利益490百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際的な事業展開や資金調達を行っていませんので、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1)貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年5月31日)	当事業年度 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,606,961	4,359,352
受取手形	1,097,199	1,057,995
電子記録債権	734,617	825,626
売掛金	2,123,436	2,104,363
商品及び製品	402,560	450,803
仕掛品	16,052	28,099
原材料及び貯蔵品	538,433	435,640
前払費用	17,366	20,301
その他	3,826	3,020
貸倒引当金	△2,000	△2,000
流動資産合計	8,538,453	9,283,203
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,967,993	1,974,104
減価償却累計額	△1,538,780	△1,575,604
建物(純額)	429,213	398,500
構築物	430,327	455,500
減価償却累計額	△333,736	△340,172
構築物(純額)	96,590	115,328
機械及び装置	10,167,381	10,253,946
減価償却累計額	△9,194,114	△9,358,195
機械及び装置(純額)	973,266	895,751
車両運搬具	16,318	13,608
減価償却累計額	△16,318	△13,608
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	136,536	149,756
減価償却累計額	△117,767	△122,387
工具、器具及び備品(純額)	18,768	27,368
土地	194,549	194,549
リース資産	117,610	81,626
減価償却累計額	△79,378	△39,296
リース資産(純額)	38,231	42,330
建設仮勘定	2,300	115,483
有形固定資産合計	1,752,919	1,789,310
無形固定資産		
ソフトウェア	8,270	6,084
電話加入権	1,269	1,269
商標権	151	122
無形固定資産合計	9,691	7,476
投資その他の資産		
投資有価証券	2,463,062	2,495,460
出資金	9,793	9,793
長期前払費用	300	220
その他	2,155	2,231
投資その他の資産合計	2,475,310	2,507,704
固定資産合計	4,237,922	4,304,492
資産合計	12,776,375	13,587,695

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年5月31日)	当事業年度 (2020年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	1,745,823	1,706,422
買掛金	447,397	330,837
リース債務	16,651	18,079
未払金	426,675	503,411
未払費用	731,488	528,557
未払法人税等	254,667	244,518
未払消費税等	69,971	103,038
預り金	6,179	15,551
設備関係支払手形	29,818	62,072
その他	339	—
流動負債合計	3,729,013	3,512,490
固定負債		
リース債務	24,058	28,069
長期未払金	52,816	52,816
繰延税金負債	242,591	297,466
退職給付引当金	417,768	450,064
資産除去債務	911	911
固定負債合計	738,146	829,328
負債合計	4,467,159	4,341,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	821,070	821,070
資本剰余金		
資本準備金	734,950	734,950
その他資本剰余金	9,537	16,080
資本剰余金合計	744,487	751,030
利益剰余金		
利益準備金	50,000	50,000
その他利益剰余金		
配当準備積立金	58,000	58,000
別途積立金	1,091,419	1,091,419
繰越利益剰余金	4,263,918	5,167,065
利益剰余金合計	5,463,337	6,366,485
自己株式	△207,786	△200,770
株主資本合計	6,821,108	7,737,815
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,488,107	1,508,061
評価・換算差額等合計	1,488,107	1,508,061
純資産合計	8,309,216	9,245,876
負債純資産合計	12,776,375	13,587,695

（2）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2018年6月1日 至 2019年5月31日）	当事業年度 （自 2019年6月1日 至 2020年5月31日）
売上高	10,030,609	10,032,377
売上原価		
商品及び製品期首たな卸高	338,871	402,560
当期製品製造原価	7,741,641	7,127,957
当期商品仕入高	177,922	145,375
合計	8,258,435	7,675,894
他勘定振替高	56	34,151
商品及び製品期末たな卸高	402,560	450,803
売上原価合計	7,855,817	7,190,939
売上総利益	2,174,791	2,841,437
販売費及び一般管理費		
運搬費	688,111	669,096
保管費	2,930	4,629
販売手数料	273	252
役員報酬	93,852	98,417
株式報酬費用	11,364	13,080
従業員給料及び賞与	267,807	315,453
福利厚生費	57,777	64,333
退職給付費用	8,614	9,058
支払手数料	66,402	77,617
賃借料	7,284	12,004
減価償却費	25,029	25,139
その他	192,680	201,378
販売費及び一般管理費合計	1,422,128	1,490,461
営業利益	752,662	1,350,975
営業外収益		
受取利息	3	0
受取配当金	47,209	54,047
受取賃貸料	1,900	2,105
受取保険金	4,565	5,535
その他	1,142	1,239
営業外収益合計	54,821	62,928
営業外費用		
売上割引	2,701	3,062
固定資産処分損	—	1,250
その他	54	607
営業外費用合計	2,755	4,919
経常利益	804,728	1,408,984
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,848
特別利益合計	—	3,848
特別損失		
固定資産除却損	25,400	17,900
特別損失合計	25,400	17,900
税引前当期純利益	779,328	1,394,932
法人税、住民税及び事業税	290,219	376,232
法人税等調整額	△44,082	46,134
法人税等合計	246,137	422,367
当期純利益	533,191	972,565

【製造原価明細書】

区分	注記番号	前事業年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)		当事業年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)		
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
I 材料費	※		4,741,979	61.3	4,068,577	57.0
II 労務費			728,323	9.4	767,199	10.7
III 経費			2,270,790	29.3	2,304,228	32.3
当期総製造費用			7,741,093	100.0	7,140,005	100.0
期首仕掛品たな卸高			16,600		16,052	
合計			7,757,693		7,156,057	
期末仕掛品たな卸高			16,052		28,099	
当期製品製造原価		7,741,641		7,127,957		

原価計算の方法

原価計算の方法は、板紙関連品については組別総合原価計算、美粧段ボール関連品については個別原価計算を採用しております。

(注)※主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	当事業年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
電力料(千円)	396,834	366,272
燃料費(千円)	683,850	605,004
減価償却費(千円)	245,535	251,655
外注加工費(千円)	76,746	60,157

(3)株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金			
					配当準備積 立金	別途積立金	繰越利益剰 余金		
当期首残高	821,070	734,950	3,362	738,312	50,000	58,000	1,091,419	3,790,029	4,989,449
当期変動額									
剰余金の配当								△59,302	△59,302
当期純利益								533,191	533,191
自己株式の取得									
自己株式の処分			6,174	6,174					
株主資本以外の項 目の当期変動額 (純額)									
当期変動額合計	—	—	6,174	6,174	—	—	—	473,888	473,888
当期末残高	821,070	734,950	9,537	744,487	50,000	58,000	1,091,419	4,263,918	5,463,337

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評 価差額金	評価・換算差額等 合計	
当期首残高	△213,251	6,335,580	1,663,594	1,663,594	7,999,174
当期変動額					
剰余金の配当		△59,302			△59,302
当期純利益		533,191			533,191
自己株式の取得	△4	△4			△4
自己株式の処分	5,469	11,643			11,643
株主資本以外の項 目の当期変動額 (純額)			△175,486	△175,486	△175,486
当期変動額合計	5,464	485,527	△175,486	△175,486	310,041
当期末残高	△207,786	6,821,108	1,488,107	1,488,107	8,309,216

当事業年度(自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計
					配当準備積立金	別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	821,070	734,950	9,537	744,487	50,000	58,000	1,091,419	4,263,918	5,463,337
当期変動額									
剰余金の配当								△69,417	△69,417
当期純利益								972,565	972,565
自己株式の取得									
自己株式の処分			6,543	6,543					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	6,543	6,543	—	—	—	903,147	903,147
当期末残高	821,070	734,950	16,080	751,030	50,000	58,000	1,091,419	5,167,065	6,366,485

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△207,786	6,821,108	1,488,107	1,488,107	8,309,216
当期変動額					
剰余金の配当		△69,417			△69,417
当期純利益		972,565			972,565
自己株式の取得		—			—
自己株式の処分	7,015	13,559			13,559
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			19,953	19,953	19,953
当期変動額合計	7,015	916,706	19,953	19,953	936,660
当期末残高	△200,770	7,737,815	1,508,061	1,508,061	9,245,876

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	当事業年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	779,328	1,394,932
減価償却費	270,564	276,795
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△3,848
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△6,814	32,296
受取利息及び受取配当金	△47,212	△54,047
売上債権の増減額(△は増加)	△284,925	△32,732
たな卸資産の増減額(△は増加)	△86,825	42,502
仕入債務の増減額(△は減少)	35,150	△155,960
その他	277,636	△26,807
小計	936,902	1,473,130
法人税等の支払額	△136,554	△386,111
営業活動によるキャッシュ・フロー	800,348	1,087,019
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△99,216	△273,910
有形固定資産の除却による支出	—	△27,432
無形固定資産の取得による支出	△5,192	—
投資有価証券の取得による支出	△6,829	△7,811
投資有価証券の売却による収入	—	7,954
利息及び配当金の受取額	47,189	53,710
その他	427	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63,622	△247,488
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△59,275	△69,208
自己株式の取得による支出	△4	—
リース債務の返済による支出	△15,112	△17,931
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74,392	△87,139
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	662,332	752,390
現金及び現金同等物の期首残高	2,944,628	3,606,961
現金及び現金同等物の期末残高	3,606,961	4,359,352

(5)財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症(以下、本感染症)の影響に関して、当社は岡山県及び大阪府の各事業拠点において、厳重な対策を実施した上で事業活動を継続しており、現時点においては平常時と比べて極端に稼働率が下がっているような状況にはありません。しかし、本感染症は経済、企業活動に広範な影響を与える事象であり、また、今後の広がり方や収束時期等を予想することは困難であります。そこで当社では外部の情報源に基づく情報等を踏まえて、今後、2021年5月期の一定期間にわたり当該影響が継続するとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものとあります。

当社は、主に中芯原紙・紙管原紙を主体とした板紙と美粧段ボールの製造、販売を主たる事業としており、それぞれ取り扱う製品について包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しているため、報告セグメントを「板紙事業」及び「美粧段ボール事業」の2つとしております。

「板紙事業」は、段ボール製造用原紙の一品種である中芯原紙及び紙、布、セロファン、テープ、糸などの巻しんに使用される紙管原紙の製造販売を、「美粧段ボール事業」は、青果物、食品、家電製品等の包装箱や贈答箱の製造販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理は、財務諸表を作成するために採用される会計処理方法に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益に基づいた数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	財務諸表計上額(注)
	板紙事業	美粧段ボール事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	8,766,968	1,263,641	10,030,609	10,030,609	—	10,030,609
セグメント間の内部売上高又は振替高	129,379	28,140	157,519	157,519	△157,519	—
計	8,896,347	1,291,781	10,188,128	10,188,128	△157,519	10,030,609
セグメント利益又は損失(△)	769,486	△16,823	752,662	752,662	—	752,662

(注) セグメント利益又は損失は損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当事業年度(自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	財務諸表計上額(注)
	板紙事業	美粧段ボール事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	8,846,565	1,185,811	10,032,377	10,032,377	—	10,032,377
セグメント間の内部売上高又は振替高	137,015	29,118	166,133	166,133	△166,133	—
計	8,983,580	1,214,930	10,198,511	10,198,511	△166,133	10,032,377
セグメント利益又は損失(△)	1,394,166	△43,190	1,350,975	1,350,975	—	1,350,975

(注) セグメント利益又は損失は損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	当事業年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
1株当たり純資産額	1,678.93円	1,861.19円
1株当たり当期純利益	107.86円	196.06円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	当事業年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
当期純利益(千円)	533,191	972,565
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	533,191	972,565
普通株式の期中平均株式数(株)	4,943,550	4,960,570

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1)生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当事業年度の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当事業年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	前年同期比(%)
板紙事業(千円)	9,067,104	1.3
美粧段ボール事業(千円)	1,185,811	△6.2
合計(千円)	10,252,916	0.4

(注) 1. 板紙事業の生産実績は板紙の生産数量(自家消費分を含む)に平均販売価格を乗じた金額を、また美粧段ボール事業の生産実績は販売金額を記載しております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注状況

板紙事業については、顧客が特定しているため需要を予測して見込生産を、また美粧段ボール事業は、受注生産を行っておりますが、いずれの製品も受注から生産・納入に至るまでの期間が短く期末における受注残高は少ないので、次に記載する販売実績を受注実績とみなしても大差はありません。

③販売実績

当事業年度の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当事業年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	前年同期比(%)
板紙事業(千円)	8,846,565	0.9
美粧段ボール事業(千円)	1,185,811	△6.2
合計(千円)	10,032,377	0.0

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。